

要求書

對市共同關爭委員會

東京交通労働組合

東京市従業員組合

東京電氣労働組合

東京市長
永田秀次郎 殿

東京交通労働組合 東京市従業員組合 東京電氣労働組合の三団体より成立したる對市共同關爭委員會の名称を以て収入低下並に人件費の削減及歳首に對して絶対的及び更なる四月争議に於ける解雇者の復職に就いて要求書を提出し市当局理事者へ誠意ある回答を求めんとすものなり
我々此の要求書を提出するに當り昨十二月全従業員大会を開催し慎重に討議したる結果市当局理事者への充分の解雇に對する期待と確信を特に左に吾々の所見の一端を提示し全従業員の納得する全編の誠意の披露を希望するものなり

我々の現在に於て歳取政策により或は昇給率半減若しくは撤廃され諸手当即ち早仕居残り等、歩増の撤廃等と依り程度収入を激減され其の上で會社日給の一部を賞與と減額して多大の犠牲を伴ひ現在月収十五万円乃至二十五万円以下の對し市當局理事者は更に全従業員の苦しい生活に理解し同情し一方市成の世帯としての不便を顧みず京高事業の内消を計る者現在の収入低下を更に復されんことを欲せむものなり

然りと吾々の斯く犠牲のみならず東京市に於て月俸給入夫價の三割天引の如き月俸金も低下を計及するものなり未年及予算の編成に當り電氣局日人件費百五十万円の削減を強要し歳収上より公担を減ずる事業のみを強欲せんとす事に対し絶対的及び行すべし同時及及者を促すものなり